

防波堤

政治 独島に水中庭園・展望台設置される
2016年までに295m防波堤建設

[ソウル経済 2011.4.4 クォン・デギョン記者]



東海海洋科学基地 予定位置
水深50m

防波堤
(長さ295 m)

展望台
(水中公園)

<資料：国土海洋部>

政府が独島の実効的支配強化にむけて、独島水中庭園と展望台を早ければ来る2016年までに造成する計画であることが4日確認された。

国土海洋部と外交通商部など独島関連関係部処は、この日午前ハンナラ党と独島党政（※政府・与党）緊急懇談会でこのような方針を明らかにしたことが分かった。

自民党領土特命委員会 配付資料
衆議院議員 新藤義孝

防波堤

ソウル経済新聞が入手したレポートの内容によれば、政府は独島の前面に海水の通過が可能なパイル式防波堤（長さ 295m、幅 20m）を総事業費 4,074 億ウォンをかけて、親環境的に建設する計画だ。防波堤は海水通過が可能に、海水面から高さ 3m で最大水深 30m に潮差 40 cmを基準に設置され、年内に基本設計を完了して、来年まで実施設計を終える予定だ。

特に、防波堤には水中庭園と長さ 55m の展望台が設置される。これは独島訪問者の滞在時間を増やして様々な見どころを提供するためというのが国土部の説明だ。また、国土部は円滑な予算確保のもとに、2013 年着工後、早ければ 2016 年防波堤（水中庭園・展望台）竣工を目標にしている。国土部のある関係者は「予算確保が重要だ」とし、「通常の工事期間は 3 年 6 ヶ月とみているが、最大限工期を繰り上げれば 2016 年竣工も可能だ」と説明した。

国土部は同時に、今月独島総合海洋科学基地構築のための陸上構造物製作に着手する計画だ。独島北北西方向 1 km 海上に鉄骨構造物の形で建設される科学基地は、建築延べ面積約 2,700 m²に、総事業費 430 億ウォンが投入される。科学基地は完全自動化システムを備えて、普段は無人で運営され、海洋・気象・地震など各種観測設備が設置される。国土部は科学基地の構造物について、来年12月まで組み立てを完了する方針だ。

このほか、政府は 7 月竣工予定だった独島住民宿泊所工事を 5 月初旬までに仕上げ、鬱陵島沙洞港 2 段階開発も、来年上半期中に工事に着手するという目標を立てた。このうち沙洞港開発は旅客・海軍・海警埠頭などの接岸施設及び防波堤（長さ 900m）などの建設が骨子で、総事業費 3,520 億ウォンが入ると国土部は推算している。政府は来年上半期に沙洞港開発に本格的に着手した後、2017 年竣工する計画だ。

kwon@sed.co.kr

入力時間：2011/04/04 15:15:28 修正時間2011/04/04 17:26:41

<http://economy.hankooki.com/lpage/politics/201104/e2011040415152893140.htm>